

平成20年
秋号

わいわい21

豊齡研のいま・これから特集

発行
豊齡研ITサロン会津
福島県会津若松市柳原町1-2-34
(郵便番号965-0857)
編集・印刷・発行責任者
長谷川 友仁
電話 090-1399-2242



長谷川 友仁

平成十二年四月豊齡研ITサロン発足。「相手が嫌だ！」と思うことはしない・言わない・ひとの悪口や陰口はいわない！をモットーに、パソコンを楽しむ勉強しながら会員相互の交流をわいわいがやがや楽しみ、はや八年半。

パソコンの環境はどんどん変わっている。パソコンの活用方法は次の二通り。

- ◎便利な道具
- ◎楽しみを作り出す

この数年間でパソコンを使う目的が大きく変わってきた。「便利さを利用する」道具から「楽しみを作り出す」道具に変わっている。それはパソコン・イン

ターネットの内容が大きく進歩したから。しかし、初心者の方は、おそらく「便利さを利用する」ことは理解できても「楽しみを作り出すための道具」の意味は想像できない。といって、これを言葉だけで説明するのは至難の業。実際に自分で経験して初めて分かること。

豊齡研ITサロンの開催スケジュール

開催場所	2008/10月	2008/11月	2008/12月
会津若松市柳原町	7日(金) 11時～13時 29日(土) 10時～12時	7日(金) 11時～13時 14日(金) 11時～13時 17日(金) 11時～13時 21日(金) 11時～13時 24日(金) 11時～13時 28日(金) 11時～13時	7日(金) 11時～13時 14日(金) 11時～13時 21日(金) 11時～13時 28日(金) 11時～13時

※本誌に掲載のスケジュールは、開催予定の場所、時間、内容は最新の情報に基づいており、変更される場合があります。

しみを作り出すための道具としていけるよう、わいわいがやがや楽しく努力して行きたい。この会報を、覧になり、待ちしております。

共に学ぶオープンオフィス (OpenOffice.org)



星野 重道

私たちの会では、会員のパソコンがXPからVistaへと移りつつある。内蔵しているソフトも2003と2007であり、操作も違う。ワードやエクセルを学習するにも支障があり、共通

そこで九月より全会員オープンオフィスをインストールして使用することにした。このソフトは、オープンソースで開発されたワープロソフトや表計算ソフトなどを統合したオフィススイートでマイクロソフト社のオフィスと高い互換性がある。また、無料で入手でき、自由に使えるという利便性がある。



会津若松市ではこのソフトの採用を決定し、経費節減を図ると宣言し順次移行している。私たちの会でもこのソフトの学習に取り組み一ヶ月が経過した。一度も体験したことのないソフトであり、資料や書籍も少ない。教える側も教えられる側も無く共に学ぶ仲間である。

同じフィールドで暗中模索しながらこのソフトの操作に慣れようと努力している。操作しているうちに、ワープロソフトやエクセルと似たような点があるのに気づいた。そして新しい発見があり、驚きがある。このソフトにいち早く着目した先見性を自負し、共に学ぶ楽しさと喜びを味わい、これからも精進していきたい

「パソコン」今は誰でも知っている言葉



佐藤 美雪

「パソコン」今は、誰でも知っている言葉です。十年前は、どうだったのでしょうか。先進を行く少数の方々しか「パソコン」やっていなかったでしょう。庶民には遠い遠い言葉のひびきだったのではないのでしょうか？

自分には、無縁だと思っていた「パソコン」が、こんなに身近に。それも、生活の一部になるとは、思っても見ませんでした。きつと、皆さんもそうなるのではないのでしょうか。

「パソコン」を触ってみたいと思いつながら、迷っておられる方が、まだまだおられるのではないのでしょうか。グループのお知らせをイラスト入りで配ったり、会計を任せられた人は、エクセル計算で簡単に計算できて喜び、計算機で「パンパン」はじくこと

ブームではないでしょう。年賀状は、自分の好きなオリジナルで作ることもできます。「あら、パソコンっておりこうさんのネ」と思わず手をたたいて喜んでしまいます。

お友達と旅行に出かけデジタルカメラで写したのを「パソコン」でアルバムを作り、欠席したお友達にメールで送ってやりたり、庭に咲いた花々を写したり、孫の成長振りを記録して眺め、至福のひと時を過ごす喜びもいろいろあります。みなさん！一度「パソコン」にさわってみませんか。楽しいですよ

私とパソコン



羽生田 ミツ子

私がパソコンを購入したきっかけは、これからの人生、指を動かしていれば認知症にならないのでは、また足腰が弱っても(三十年来の腰痛です)パソコンと、向き合って生活出来るのではと、単純な発想でした。

最初の半年位は、自己流で娘とメールをしておりました。人差し指だけの、文字入力ちつとも進歩がありません。

お友達の家にお邪魔したら、パソコンが鎮座、パソコン教室に通っているとの事、私はパソコンのいろはも解りませんでしたので、もちろんワープロにも触れたことがない、何事も基本が大事と、早速豊齡研に入会させていただきました。今年、十二月で五年になるうとしています。お陰様でワード、エクセル、デジタルカメラと、楽しいパソコンライフの毎日です。長谷川代表のわいわい、がやがや！をもっとうに、お友達もでき、デジタルカメラを手に花や風景を写真に、旅行に行ったり、パソコン、デジタルカメラ、たくさんのお友達、私の生活の一部になっております。

便利なパソコン？



海野 文雄

近頃、「あれ」「それ」で通じてしまう会話が、我が家では多くなったように思う。仕事を辞めてから、ボケ防止と、必要に迫られて始めたパソコンが、とても楽しく便利で、毎日が新鮮に感じられたのに、最近はどうも進化するハードやソフトに、私の脳がついていけないのかと少々心配になってきた。

要は忘れることが覚えるスピードを追い越してしまい忙

しい事を言い訳にして、勉強不足が高じてしまった結果なのである。先日携帯のモバイルを開発している若手企業家の社長とお会いしたら、

「十年後には頭で考えたことが、キーボード無しでもパソコンが処理をして結果を出してくれる時代になる」と言われ驚きと同時に、「それは便利さとは違うのではないの」と思いながら、私個人としては、これ以上の進化は要らないと感じてしまいました。

せないバイタリティーには、本心に尊敬と驚きを感じます。きつと忘れる事と覚えることが、私と逆になっているかなのでしよう。



インターネットやデジタルカメラ本当に楽しそうですね。

昨日友人から近況を知らせる手紙がきた、ペン書きの手紙を見て、今パソコンを使わないことに違和感を感じながら、特徴のある文字のインクの青さにとても温かいぬくもりを感じた。

よし今日は新しいソフトの復習予習をやってみるかア。

パソコンの画面から発見



鏡淵 陽子

豊齡研ITサロンに参加して八年目になりました。最近ではデジタルカメラで撮った写真をパソコンに取り込む瞬間の面白さや新たな発見を見つける喜びを味わっています。

花の様々な表情や昆虫たちのそのつど変化する鮮やかな体色など、パソコンの画面から美しく表れます。グランデコのデコ平らで見つけた蝶々アサギマダラの赤と青の羽が太陽の光り



蕎麦の花

に遭うとその光りで透き通って、好物の花ヨツバヒヨドリや、薔麦の花を望遠レンズで撮った写真を画面で見た時、今までのイメージが一変しました。

白い花びらの中から赤い雌しべ(花柱)が無数に飛び出し、ベージュ色した実を沢山実らせていました。その美しさを可愛さ、生命のたくましさは画面を通して初めて知る喜びでした。

豊齡研で学んだ写真加工のテクニックや仲間から教わる事の多いデジタルカメラの撮り方など、学びの中にも、自分のペースで楽しめるパソコンがこれからの人生の大事なパートナーの一つになるのでしょうか。

豊齡研との出会い



岩崎 輝夫

今から七、八年前定年退職を前に、ある先輩から退職後は出来るだけ早く生活リズムを作って生活する様にと言われた事を思い、これから何をしようかと思っていたときに、長谷川代表から誘われたのが豊齡研ITサロンの会津との出会いです。

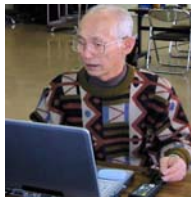
以来、会員の皆さんには大変お世話になっております。

豊齡研については、現在の高齢化社会において、地域における生涯学習の場として、これからも大いに活動を続けてもらいたいと思っております。

豊齡研の現況は、会員約八十名の所帯で午前、午後の二部に分かれ週一回、中央公民館等を利用して頂き活動をしているところで、

プログラムは、年間計画により、ワード、エクセル、デジタルカメラ、メール

更なるバージョンアップを



新井田 滋雄

入会したのが平成十六年一月九日。その年の四月の会報に投稿を依頼され、「人生のバージョンアップ」と題して、パソコンの操作技術のバージョンアップと合わせ、会員の皆さんとの交流を通して、人生のバージョンアップの素晴らしさをかみしめ、毎週金曜日を待ち遠しく思っていますと書いたように思います。

今年で五年目になりますが、入会した当時の思

いは今も続いています。

豊齡研で学んだことは、現在役立つこと、無尽で使っているIF関数を使った現金出納帳と、SAM関数を使った会計決算報告書です。毎月入力ミスさえなければ、計算ミスはありません。

ワード、エクセルとも、かなり覚えたつもりでも、極わめてわずかな範囲でしかありません。

今後とも齢を重ねながら、更なるバージョンアップをしていきたいものです。

豊齡研ITサロンの紹介



小関千津子

ワープロで文書を作成する時代が過ぎ、必要に迫られてパソコンを覚える事になりました。

豊齡研ITサロンでの学習は、沢山の仲間と楽しく時間の経過が早く感じられるものです。

講師の先生の懇切丁寧な、時にはユーモアのある説明は、本当に楽しいものです。

三年を迎えている私は、ワードを使つての文書作成、名刺作成、デジタルカメラで写した写真をパソコンに撮り入れ、年賀ハガキや暑中見舞い、近状報告等の文書チラシ等に活用出来るようになりました。

インターネット等と月々に循環して教習します。又、春、秋には野外研修と言つて、県内外の景勝地へ写真撮影の日帰り研修旅行を実施。後日、パソコンの教材にしたり展示会を開催したりします。

その他、会員相互の親睦をかねて四季折々の行事も行っております。

最後に私事ですが、最近お陰さまで、町内会や会社OB会等の文書作りや広報作りにパソコンに助けられています。

これからも、会員の皆さんには、色々お世話になりますので宜しくお問い合わせ致します。特にいつもメールを下さる方々には、此の場をかりて御礼とお詫びを申し上げます。

特に、デジタルカメラを使用しての学習は例年「春の青葉と花」「秋の紅葉」の時期に行われますが、日頃の教室での学習と違い、伸び伸びと自然を満喫しながらお薦めの授業内容です。

いろんな方との交流も出来、世界が変わったかな?と思える近頃です。

現代は「高齢化」が進み、いろんな分野での「生涯教育」を目標にされていますが、「指と脳・会話」から成り立っている豊齡研ITサロンは、まさに、このテーマにぴったりのものかと思っております。

